

カリキュラムマップ<看護学科> 2023年度以降入学生

建学の精神 「誠意と親切と広い心」を理念に、医療の基本的精神である科学と人間愛に基づき、医療の知識と技術向上に努め、地域医療福祉等に貢献できる人材を養成する。

教育目的 全学 …… 教育基本法の精神に則り、学校教育法に基づき、「誠意と親切と広い心」を理念に、豊かな一般教養の上に実践的な学問及び技術を深く教授し、地域社会等に貢献し得る優秀な人材を養成することを目的とする。

- 教育目標
- ①科学的根拠に基づいた看護領域の専門知識、技術及び実践力を有する看護師
 - ②高度化、多様化する医療環境の変化等に主体的に対応できる実践力を有する看護師
 - ③生命の尊重と人間に対する全人的な深い理解に基づく対象者への看護の実践及び多職種と連携・協働しながら看護を提供できる良好な人間関係を築く能力と態度を有する看護師
 - ④生涯にわたり、主体的かつ能動的に学習する意思を持つ看護師

※ディプロマ・ポリシーの番号はP3の該当番号

教育目的に基づくカリキュラム・ポリシー		項目	1年次		2年次		3年次		学習成果	ディプロマ・ポリシー			
全学方針	看護学科方針		前期	後期	前期	後期	前期	後期		全学方針	看護学科		
(1)社会生活に求められる教養、倫理、責任感及びコミュニケーション能力を身につけるため、全学に総合教育科目を配置する。	(1)豊かな人間性と教養及びコミュニケーション能力を身につけ、対象者を全人的に深く理解するため、人間と科学・人間と社会・コミュニケーション等の総合教育科目を配置する。	人間と科学	生物学 化学 人間工学 看護と情報	環境と人間					(全学)教養・倫理・責任感及びコミュニケーション能力の修得 (1)看護職に求められる教養・倫理観・責任感・コミュニケーション能力及び主体的に研鑽する態度の修得	生命倫理学	(1)豊かな人間性と教養を身につけ、看護師としての責任感や倫理観など、医療人として求められる能力と態度を身につけている。		
		人間と社会	社会学 人間関係論	教育学 心理学									
		コミュニケーション	基礎演習Ⅰ 文章表現法	コミュニケーション学									
		外国語	英語Ⅰ(教養英語)	英語Ⅱ(日常英会話) 英語Ⅲ(専門英語) ドイツ語 中国語									
(2)専門教育科目は、専門職の基礎知識である人体、疾病などの専門基礎を学び、それぞれの学科・専攻課程ごとに、次のとおり専門知識・技術及び実践力を修得する科目を配置する。	(2)看護の専門基礎知識を修得するため、人体の理解・疾病の成り立ちと回復の促進・社会の構造と環境の専門基礎科目を配置する。	人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 生化学	生活者の解剖生理 栄養学					(2)看護の専門基礎知識の修得	共生社会と福祉 医療と経済 看護と法律 保健統計学	(2)看護師として必要な基礎的知識・技術・態度を身につけ、対象者を全人的にとらえ、科学的判断・倫理的判断を基に、対象者に応じた看護を實踐できる。		
		疾病の成り立ちと回復の促進	疾病論Ⅰ 疾病論Ⅱ 疾病論Ⅲ 公衆衛生学 薬理学 微生物学 社会福祉学	病態心理学 カウンセリング論 リハビリテーション概論									
		健康支援と社会保障制度											
	(3)看護の領域ごとに、健康生活を支えるための看護の原理と基礎	(3)看護の領域ごとに、健康生活を支えるための看護の原理と基礎・健康生活を支えるためのライフサイクル別看護活動の専門科目及び統合科目を配置し、専門知識・技術実践力を段階的に高めるように配置する。	健康生活を支えるための看護の原理と基礎	看護学概論 基礎看護技術Ⅰ	基礎看護技術Ⅱ フィジカルアセスメントⅠ	基礎看護技術Ⅲ 基礎看護技術Ⅳ フィジカルアセスメントⅡ				(1)看護職に求められる教養・倫理観・責任感・コミュニケーション能力及び主体的に研鑽する態度の修得 (3)看護の専門知識・技術の修得 (4)看護の対象者を全人的にとらえ、科学的判断・倫理的判断を基に対象者に応じた看護を行う実践力の修得 (5)看護学に関わる課題を解決するための科学的思考力と問題解決能力を身につけ、向上心と探求心をもち、知識・技術の修得や学術研究活動を推進することができる能力の修得	地域・在宅看護活動Ⅳ	(3)看護の対象者及び医療チーム間における円滑なコミュニケーション能力を身につけ、互いを尊重した人間関係を構築できる。	
			健康生活を支えるためのライフサイクル別看護活動		地域・在宅看護概論 成人看護学概論 高齢者看護学概論 小児看護学概論 母性看護学概論	地域・在宅看護活動Ⅰ 成人看護活動Ⅰ 成人看護活動Ⅱ 高齢者看護活動Ⅰ 小児看護活動Ⅰ 小児看護活動Ⅱ 母性看護活動Ⅰ 精神看護学概論	地域・在宅看護活動Ⅱ 地域・在宅看護活動Ⅲ 成人看護活動Ⅲ 成人看護活動Ⅳ 高齢者看護活動Ⅱ 小児看護活動Ⅱ 小児看護活動Ⅲ 母性看護活動Ⅱ 精神看護活動Ⅰ						
			専門領域別実習	基礎看護学実習Ⅰ	地域・環境実習Ⅰ	基礎看護学実習Ⅱ	地域・環境実習Ⅱ 成人・高齢者看護学実習Ⅰ 小児看護学実習 母性看護学実習	地域・在宅看護論実習 成人・高齢者看護学実習Ⅱ 小児看護学実習 精神看護学実習					
			看護の統合と実践			安全管理論		災害・国際看護論 総合判断育成演習 看護の統合実習 課題研究					
	(4)看護の領域ごとに、看護職としての科学的判断・倫理的判断を基に、対象者に応じた看護を實踐するための実習科目を段階的に配置する。	(4)看護の領域ごとに、看護職としての科学的判断・倫理的判断を基に、対象者に応じた看護を實踐するための実習科目を段階的に配置する。	看護の統合と実践							(2)学習を通して、専門職として求められる専門知識・技術及び実践力を修得し、地域医療福祉等に貢献できる力を身につける。 (3)学科・専攻課程の教育目的に基づく学習を通して、人間・保健医療福祉問題を科学的・論理的に思考し、柔軟な発想による課題発見、解決のための知識、技術等を身につける。	(4)生涯にわたり向上心と探求心をもち続け、看護専門職として主体的に研鑽できる。		

科目関連図

各科目がどのように関連しているかを理解して学習をすすめる。

<看護学科> 2023年度以降入学生

